



そーる通信

8号 平成30年 秋号

7月7日西日本豪雨にて真備町の生活圏の8割が水没しました。そーるの事務局、代表片岡の自宅、管理者北川の自宅はすべて全壊し復旧できていない状況です。

そーる訪問看護ステーションでは、災害直後には事業を継続すると決め、利用者様の安否確認から始めました。

スタッフ・利用者様は全員無事で、現在も各自避難生活を余儀なくされています。

沢山の方々からのサポートを頂きながら、前に一歩ずつ、真備町に立ち、訪問看護事業を継続させて頂いております。

スタッフ一同

☆そーる事務所の様子

7月9日 水が引いた直後の事務所。二階の50cmまで汚水が…。あの日を境に、全ての状況が一変。スタッフや利用者皆様が無事であったことが、何より安堵した時でした。



☆基盤再生の状況

7月31日 事務所の隣の敷地に、新たな拠点となるトレーラーハウスを稲葉先生(Peace Winds Japan)のご配慮で、civic forceから無償で支援していただき、設置いただきました。



☆真備尾崎地域活動の様子

いぐすべ南三陸実行委員が主催し、ボランティアの方々の協力のもと、物資配布を毎週日曜日に行っています。同時にコミュニティの再建や、健康カフェを開き集いの場と変化しています。



☆そーる夏祭り

8月26日 沢山の方々のご協力のもと、夏祭りを開催。着付けしていただき、スタッフ〇十年ぶり?(笑)に浴衣を着ました。笑顔が増えた一日でした。



☆そーる開設3周年

9月1日 そーる訪問看護ステーションは開設三年目を迎えました。お祝いのお花もいただきました。

10月7日 南三陸町佐藤町長、復興市実行委員会山内正文会長をはじめ多数の方々が、真備町を視察され、そーる訪問看護ステーションへ来てくださいました。



《支援協力団体》

いぐすぺ南三陸倉敷実行委員会、team bluedog、キャンナス(全国ボランティアナース)、全国ホームホスピス協会、NPO法人Both-AI、岡山県訪問看護連絡協議会、藤井クリニック、あさのクリニック、つばさクリニック、あゆみクリニック、その他医療、福祉、介護、個人ボランティアの皆様より多大なるご支援を頂いております。本当にありがとうございます。

10月現在新しいスタッフも加わり、倉敷市真備町、矢掛町、総社市を中心に、訪問看護が可能となっております。

どうぞお気軽にお問合せくださいませ。

そーる訪問看護ステーション

NPO法人そーる：倉敷市真備町尾崎812-16（木・日曜日・祝休み）

現在は総社市藤井クリニック内の2階をお借りし拠点としています。